

2021 年 7 月 7 日

焼肉ビジネスフェア 2021 出展報告

当協会が毎年特別協力している「焼肉ビジネスフェア」が今年はコロナ禍の影響で、例年の半年遅れで開催されました。東京会場（6 月 30 日～7 月 1 日）では第 13 回目、大阪会場（7 月 6 日～7 日）での開催も節目の第 10 回となりました。毎年、出展者、来場者、規模も拡大して来ましたが今年に限っては、コロナ禍のフェア開催となり、例年よりも規模はやや縮小して開催されましたが、コロナ対策の提案をしている参加企業が多く参加しておりました。

それぞれの会場の 2 日間の来場者数は、東京会場は 15,036 名、大阪会場は 10,063 名となり来場者数は両会場を合わせて、前年対比で約 64%と入場者数はコロナの影響で減少傾向でした。外食事業者への熱心な提案活動が行われましたが、来場者の減少がコロナの影響を色濃く反映したものと思います。

両会場ともに、オープニングセレモニーでは、当協会の会長をはじめ、多数の理事も参加してのテープカットが行われました。焼肉業界の健全な成長と発展に寄与してきた『焼肉ビジネスフェア』の開催は、協会としても重要な行事です。

東京会場では、初日には、当協会の会長で、株式会社トラジの代表取締役 金 信彦氏の『NY 出店記録』と題した講演、2 日目はおなじみの当協会の名誉会長で、株式会社叙々苑代表取締役会長 新井泰道氏による『繁盛店作りの鉄則とは』との演題で講演がそれぞれ行なわれました。いずれの講演とも、熱心に講演を聞かれる方々で会場を埋めておりました。

また、第一回 店舗デザインアワードが開催され、焼肉 店舗デザイン部門、優秀賞として焼肉トラジ イクスピアリ店が受賞。焼肉 店舗デザイン特別賞に桔梗苑本店が受賞致しました。

大阪会場でも、初日に、新井名誉会長による『繁盛店作りの鉄則とは』との演題で講演がありました。両会場ともに、盛況の内に講演を終えました。

当協会ブースでは、新規会員獲得の活動を行い、焼肉店経営者への協会活動の案内を行いました。会場にて数社の新規入会がありました。

また、当協会の賛助会員の皆様も多数出店しており、例年の試飲や試食が出来ない中、コロナ禍対応商品案内や新規取引に向け、熱の籠った商談が行われておりました。

今後も引き続き「焼肉ビジネスフェア」に特別協力を実施してまいります。

関係者の皆さま、ご協力頂きまして誠にありがとうございました。

全国焼肉協会一同。